

# トソー株式会社

(東証スタンダード市場 証券コード：5956)

TOSO  
color

## 第85期のご報告

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

窓辺をかえる、明日がかわる。

TOSO



## 窓辺をかえる、明日がかわる。

この言葉には、私たちトーソーの思いが込められています。  
「窓辺をかえる」には、世界のライフスタイルの変化を見つめ、  
アイデアと技術の躍進を図りながら、つぎつぎと新しい製品を開発し、  
お客様の窓辺を演出していくことを表現しています。

また、「明日がかわる」には、トーソーが演出する窓辺を通じて、  
お客様の毎日を、そして明日をより魅力的なものにしたいという  
願いが込められています。

そのために、私たち自らも明日にむかって変わり続けていきます。

窓辺をかえる、明日がかわる。

新しいトーソーがここから始まります。



## 経営ビジョン「Vision2025」の重点施策を着実に推進し、 不透明な環境下でも増収増益を達成

代表取締役社長

八重島 真人



平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調にて推移いたしました。しかしながら、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰、為替変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、新設住宅着工戸数は一時的な増加が見られたものの、期間全体では低調に推移しました。また、非住宅向けの建築着工床面積も減少傾向が続いております。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第3フェーズ（2024～2026年度）の初年度として、引き続き主力の住宅分野の深耕とあわせて、非住宅分野や海外販売、新規分野への営業活動を展開し、成長戦略を推進しました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は22,789百万円（前期比5.5%増加）、営業利益は746百万円（前期比54.5%増加）、経常利益は773百万円（前期比44.7%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は500百万円（前期比69.6%増加）となりました。

今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善や各種政策等により、景気は引き続き緩やかな回復基調にて推移すると見込まれるものの、原材料・エネルギー価格の上昇や為替動向に加え、米国の通商政策による影響など、先行きは不透明な状況が続くと想定されます。建設市場においては、新設住宅着工戸数の減少が続くとともに、非住宅市場でも特需による一時的な増加が見込まれるものの、人手不足や資材価格上昇等の影響により引き続き厳しい状況が続くことが予想されます。

このような環境の中、当社グループは「Vision2025」の実現に向け、引き続き新製品開発力や市場への対応力の強化に取り組んでまいります。中長期の展望では、住宅分野の深耕とあわせて需要の拡大が見込まれる宿泊施設をはじめとした非住宅分野の取り組みを進め、アジアを中心とした海外販売の強化や当社グループの保有技術を活用した用途開発、ステッキ等福祉用品等の新規分野でのビジネス領域拡大に取り組み、持続的な企業成長を図ってまいります。また、原価低減、総費用低減の徹底を図り、高収益体質への転換と競争力強化に取り組んでまいります。株主の皆様への引き続き変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

### ■ 1株あたり配当金の推移

	第84期 (2024年3月期)	第85期 (2025年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	6.5円
合計(年間)	10円	11.5円



詳細な決算説明を  
動画で公開しています。  
是非ご覧ください。





## 社長インタビュー

コア・バリュー「WITH\_」を力に次なる成長へ

### 中期経営計画

# 「Vision2025」 第3フェーズの進捗と トソーの未来像

2024年6月に代表取締役役に就任した八重島社長に、1年の振り返りと中期経営計画の「Vision2025」第3フェーズの進捗状況について、お話を伺いました。

代表取締役社長  
八重島真人

## Q 社長就任からの1年間について、振り返りをお願いします。

### A 成長戦略の遂行と並行して、理念・ビジョンの共有に注力しました。

株主の皆様には、日頃よりご理解・ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。2024年6月に代表取締役社長に就任いたしました、八重島真人でございます。

私の代表取締役社長としての最初のミッションは、成長戦略の着実な遂行だけでなく、コア・バリューである「WITH\_」の浸透および、持続的な企業成長を目指す上で重要となる方向性の共有と位置づけました。

経営ビジョン「Vision2025」完遂のためには、全社一体となって目標に向かって取り組むことが欠かせません。全国の各拠点を訪れ、私自身からビジョンを共有し、社員からの要望や今後の改善点を直接聞く機会を設けました。こうした取り組みが、2025年3期の業績回復に繋がったと確信しています。

私は、会社はチームスポーツであると考えています。私自身が入社してから35年が経ちますが、社員同士の風通しが良く助け合う企業風土は当時から変わっていません。今後もこうした企業風土を守り続けてまいります。

## Q 今後、目指していく姿を教えてください。

### A コア・バリュー「WITH\_」を軸に、カーテン業界全体を盛り上げていきます。

当社は昨年創立75周年を迎え、その節目として当社の大切な価値観、すなわちコア・バリュー「WITH\_」を定めました。

元々は、社員へ当社のイメージに関するアンケートを実施したところ、「寄り添う」「アシスト」といった言葉が多く挙げられたことから来ています。当社の主力製品であるカーテンレールは、あくまでもカーテンの脇役ですが、カーテンもカーテンレールなしには存在し得ません。このカーテンレールとカーテンの関係性のように、私たちは人々の生活、お取引先、インテリア業界全体のことを考え、貢献する企業でありたいという想いを「WITH\_」に込めています。

カーテンレールのNo.1メーカーとして、カーテン文化の発信にも引き続き努めてまいります。当社はこれまでもカーテンをはじめ、最先端のインテリアを国内向けに紹介・発信してきました。今後はInstagram等のSNSも活用することで、カーテン・インテリア業界のより一層の活性化に貢献してまいります。

## Q「Vision2025」第3フェーズ中期経営計画の進捗と、2026年3月期の位置付けについて教えてください。

### A コアビジネスと成長戦略を着実に進捗。2026年3月期を勝負の年と位置付け、一層の企業価値向上に邁進してまいります。

2025年3月期より、「Vision2025」の最終段階である第3フェーズを開始し、「新しい企業価値創造」、「成長戦略の推進」、「強固な経営基盤の再整備」、3つの重点施策を推進しております。

「新しい企業価値創造」では、カーテンレールNo.1メーカーとして、高付加価値製品の開発に注力しています。なかでも、ハンギングバーの売上が好調に推移しており、カーテンレールに次ぐ新たな柱になることを期待しています。他にも、海外では当たり前になりつつあるウェーブスタイルカーテンや電動カーテンの国内普及にも引き続き注力してまいります。現在、消費者間での口コミ情報が製品の普及に大きな役割を果たすようになっていきますので、toC向けにSNSやオウンドメディアを活用したPR活動も引き続き実施しました。

「成長戦略の推進」では、国内住宅市場の動向に捉われない、非住宅分野、用途開発、海外販売といった事業領域の拡大に取り

組みました。特に好調なのが、インバウンド需要を背景とした宿泊施設などの非住宅分野です。販売から施工までを一気通貫で提供することが求められるため、事業成長のスピードを見極めながら人材確保を進め、さらなる受注増を図ってまいります。また、窓・建物以外での需要獲得や海外での販売拡大にも注力しており、いずれも売上を伸ばすことができました。引き続き、事業領域の拡大を推進してまいります。

「強固な経営基盤の再整備」では、人的資本への投資に注力し、社員のエンゲージメント強化を図っています。優秀な人材の獲得は非常に大きな課題であり、社員の自己啓発支援や働きやすい環境の整備等を進めております。

また、サステナビリティへの取り組みとして、経済産業省が認定する「健康経営優良法人」の2年連続認定取得や、当社工場がある茨城県つくばみらい市・常総市に対する「企業版ふるさと納税」を活用した寄付等を実施しました。各拠点が位置する自治体に対しても、良好な関係性づくりに努めています。

2026年3月期は、「Vision2025」第3フェーズの業績目標である、売上高240億円到達に向けた勝負の1年と位置付けています。既存の国内住宅市場はもちろんですが、成長中の非住宅・用途開発・海外・福祉用品の各分野で、新規受注獲得を増やすため、製品および営業力の強化を図ってまいります。達成のためには、各部署が強い気持ちで一つひとつの目標を達成していくことが重要になります。そのための組織統制と適切な意思決定こそ、社長である私の責務であると考えています。

## Q 株主還元方針と、株主の皆様に向けたメッセージをお願いします。

### A 2025年3月期の配当金は、当初予想より1株あたり1.5円増額し11.5円としました。 今後も株主様への利益還元を重視し、投資魅力の向上を図ります。

当社では、株主の皆様への利益還元を経営上の重点項目として位置付けています。当期の期末配当は、業績好調を踏まえて期初計画から1.5円増額することに決定いたしました。今後は株主還元強化、株式価値向上の一環として、自己株式の取得をはじめ資本政策も含めて検討し、当社株式への投資魅力向上を高めてまいります。

当社の事業領域は「国内・住宅・窓」というニッチな業界ではありますが、新規領域への挑戦も着実に進み、さらなる飛躍の時を迎えようとしています。株主の皆様には、引き続き暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、さらなる当社の成長にご期待いただけますと幸いです。

## 「Vision2025」第3フェーズの取り組み

### 重点施策

#### 1.コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造

- ・カーテンレールNo.1メーカーとしての優位性の極限化
- ・顧客視点のサービス、プロモーションの徹底

#### 2.成長戦略への重点投資による事業領域拡大

- ・非住宅分野 営業体制強化による宿泊・医療施設等の獲得推進
- ・用途開発 当社保有技術や機能・機構等を活用した既存製品の販売領域拡大
- ・海外販売 海外ビジネス拡大に向けた取り組み強化
- ・新規ビジネス領域 新たな成長市場の模索・戦略的投資

#### 3.持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備

- ・利益体質強化に向けた生産体制・コスト構造の再構築
- ・エンゲージメント向上のための職場環境づくり

### 資本コストを意識した経営

配当方針の変更／機動的な自己株式の取得／キャッシュアロケーション

### サステナビリティへの取り組み

GHG排出量・廃プラスチック廃棄量削減／ダイバーシティの推進、人材育成／定量目標項目の設定および開示

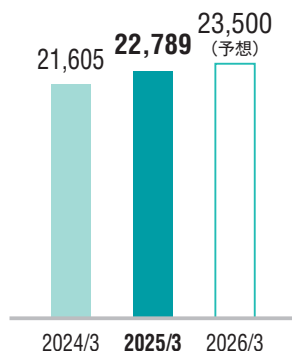


POINT

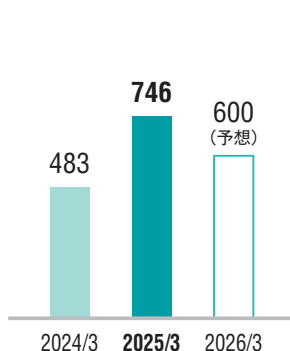
- 国内住宅市場を中心に非住宅分野、用途開発、海外での販売が好調に推移したことにより、増収
- 原価低減活動や価格改定等が寄与し、販売関連費・人件費増加のなかでも増益

(単位：百万円)

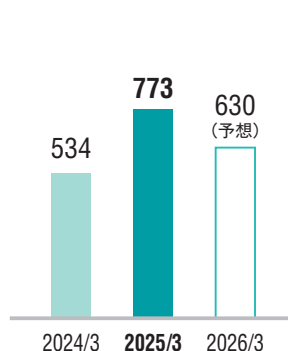
売上高



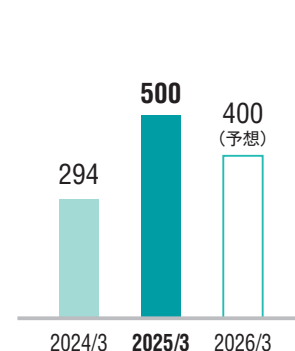
営業利益



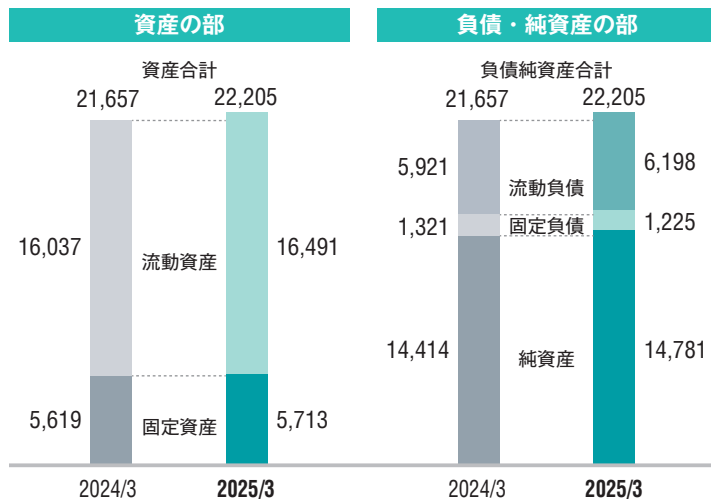
経常利益



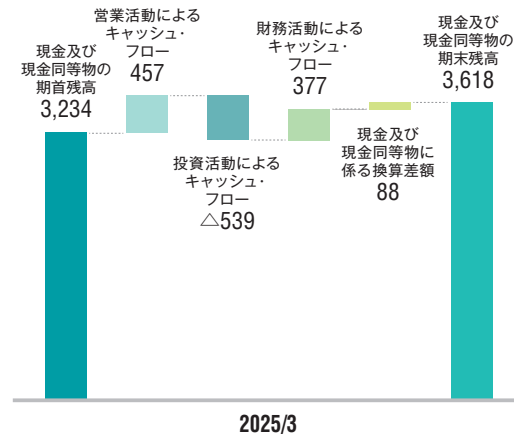
親会社株主に帰属する  
当期純利益



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



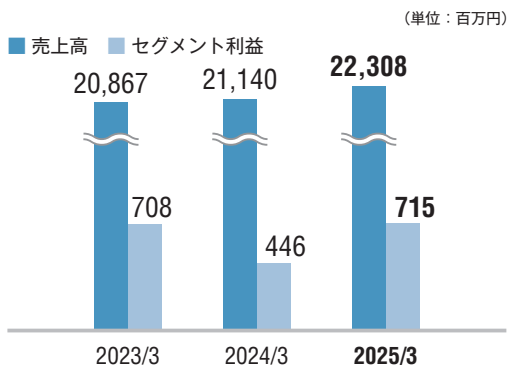
## 室内装飾関連事業



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。

### 当期の営業概況

当社グループのコア・バリューである「WITH」をコンセプトに、ロールスクリーンやパーチカルブラインド等の新製品を発売しました。また、展示会の開催・出展により製品の拡販に努めました。結果、住宅分野の販売が前年を上回ったことに加え、成長戦略として推進している非住宅分野での物件獲得や窓以外の周辺領域への販売、東南アジア地域を中心とした海外販売等が好調に推移したことで、売上高は22,308百万円（前期比5.5%増加）となりました。セグメント利益については、価格改定の寄与等もあり、715百万円（前期比60.2%増加）となりました。



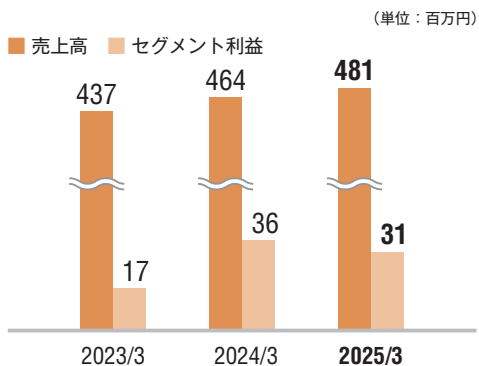
## その他の事業



ステッキを中心とした福祉用品を開発、販売しています。

### 当期の営業概況

「バリアフリー2024」や国際福祉機器展（H.C.R）へ出展するなど、ステッキ等の福祉用品の販売活動を推進しました。有力販売先の事業縮小等の影響はあったものの新規取引の増加等により、売上高は481百万円（前期比3.6%増加）となりました。セグメント利益については、為替変動による原価上昇等により、31百万円（前期比14.4%減少）となりました。





## サステナビリティに関する取り組み（社会）

地域社会への支援・地域コミュニティへの参画  
（企業版ふるさと納税）

当社は、企業版ふるさと納税を活用し、茨城県つくばみらい市および常総市への寄付を実施しました。寄付金は子育て支援に関する事業に活用いただく予定です。

つくばみらい市には当社のカーテンレール工場、常総市にはブラインド類の工場があり、ここから全国の住宅やホテル、学校、医療施設など様々な建物に、さらには世界の窓に製品をお届けしています。つくばみらい市、また常総市に工場を置く企業として、これからも地域に根差した事業活動を続けてまいります。

## ※企業版ふるさと納税とは？

平成28年度に創設された、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。



左：当社代表取締役社長 八重島  
右：つくばみらい市 小田川 市長



左：当社代表取締役社長 八重島  
右：常総市 神達 市長

その他の  
受賞作品は  
こちら



## 表紙写真コーナー

## 第1回トソーフォトコンテスト開催

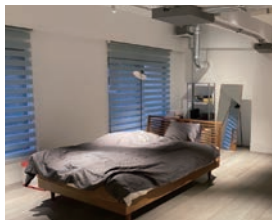
## ハンギングバーが決め手のグリーンキッチン

2024年11月から2025年2月に、インテリアフォトコンテスト『第1回トソーフォトコンテスト』を開催しました。プロ・アマ問わず、トソー製品を使ったインテリア空間の写真もしくは動画を募集し、多くの作品をご応募いただきました。表紙は、ハンギングバー部門で最優秀賞を受賞されたayamame\_plants様の写真です。今後も開催する予定ですので、ぜひ皆様奮ってご参加ください。



## TVドラマおよび映画への美術協力を行いました

2024年度下期に放送された民放ドラマ『マイダイアリー』や映画『スマホを落としただけなのに〜最終章〜ファイナルハッキングゲーム』等セットに当社製品が使用されました。



映画『スマホを落としただけなのに』



ドラマ『マイダイアリー』

## 「JAPANTEX2024」「Japan Home Show& Building Show 2024」に出展

2024年11月20日（水）～22日（金）に東京ビッグサイトで開催された、日本最大級の国際インテリア見本市「第43回 JAPANTEX2024」、日本最大級の建築に関する専門展示会「Japan Home Show&Building Show 2024」に出展いたしました。前者では、7月に発売したロールスクリーンとバーチカルブラインドを中心に、後者では近時増えている洗濯物の部屋干しに活躍するハンギングバーを中心に展示・提案を行いました。



## 12月にバーチカルブラインドとハンギングバーの新製品を発売

レース付きバーチカルブラインド「デュアルツイン」は、ドレープルーバーの間にレースルーバーを配置した構造で、ミラー機能を備えたレースが日中外からの視線を遮り、リビングで過ごす時間を快適にしてくれます。

収納専用ハンギングバー「H-3」は、棚板にも取付けられるブラケットを採用。許容荷重30kg対応で洋服の多いクローゼットでも安心して設置可能です。カラーラインナップにはグレーを追加するなど、よりご提案していただきやすい品揃えになりました。



デュアルツイン



H-3

## 健康経営優良法人2025 （大規模法人部門）の認定取得

2025年3月10日（月）に経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度にて、「健康経営優良法人2025」（大規模法人部門）に認定されました。昨年に引き続き2年連続での認定となります。当社は、「人」こそが最も重要な経営資源であると捉え、すべての社員が長期にわたり健康で安心して働き続けられる会社であるために、健康経営を推進しております。これからも当社はすべての社員が意欲的に働き続けられる環境づくりを進めてまいります。



株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株主への投資魅力を高めることなどを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待制度内容（割当基準日：3月末日）

保有株式数	継続保有期間*	株主優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満    3年以上	図書カード1,000円贈呈
300株以上 500株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（1,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
500株以上 1,000株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
1,000株以上	1年未満	なし
	1年以上3年未満	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（4,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付



※継続保有期間とは、同じ株主番号で株主名簿基準日（毎年3月31日及び9月30日）の株主名簿に、1単元（100株）以上の保有を下記のとおり、連続で記載されていることをいいます。  
1年未満 直近株主名簿に記載が2回以下    1年以上3年未満 直近株主名簿に連続3回以上6回以下記載    3年以上 直近株主名簿に連続7回以上記載

インドネシア共和国に  
おける植林活動

累計本数 **13,300本**  
(2025年3月末現在)

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。ご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当額と合わせて当期は683,775円を寄付させていただき、植樹とメンテナンスを実施しました。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（2025年3月31日現在）

会 社 名	トーソー株式会社
英 文 社 名	TOSO CO.,LTD.
本 社 所 在 地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
電 話	03(3552)1211(代)
設 立	1949年9月
資 本 金	11億7,000万円
主な事業内容	インテリア製品の開発、製造、販売 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-3)第16989号 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場
従 業 員 数	連結984名 単体624名

【役 員】(2025年6月26日現在)

《 取締役 》

代表取締役社長	八重島 真 人	(ヤエシマ マコト)
取締役	滝 澤 靖 久	(タキザワ ヤスヒサ)
取締役	森 木 圭 子	(モリキ ケイコ)
取締役(監査等委員)	齋 藤 博 一	(サイトウ ヒロカズ)
社外取締役(監査等委員)	江 角 英 樹	(エスミ ヒデキ)
社外取締役(監査等委員)	尾 崎 毅	(オザキ タカシ)

《 執行役員 》

執行役員	本 多 敏 光	(ホンダ トシミツ)
執行役員	山 本 航 平	(ヤマモト コウヘイ)
執行役員	太 田 博	(オオタ ヒロシ)
執行役員	平 沼 靖 雄	(ヒラヌマ ヤスオ)

【事業拠点一覧】

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所14カ所
生産拠点	つくば事業場(茨城県)、水海道事業場(茨城県)、兵庫事業場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京ショールーム、大阪ショールーム) TOSO Gallery(シンガポール)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 P.T.TOSO INDUSTRY INDONESIA 東装窓飾(上海)有限公司

株式情報（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	10,000,000株
株主数	12,101名

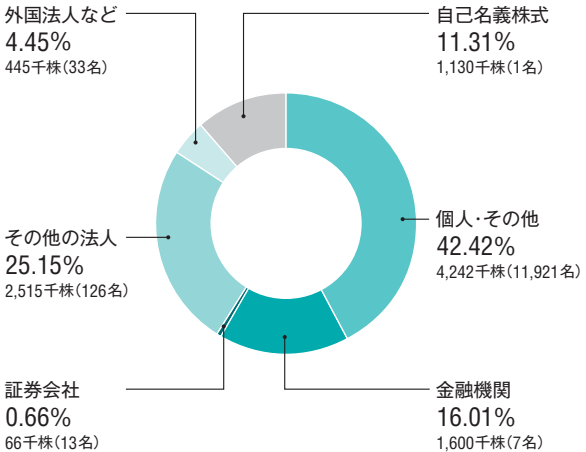
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
十和運送株式会社	414	4.67
株式会社みずほ銀行	408	4.60
トーソー取引先持株会	388	4.37
株式会社三菱UFJ銀行	338	3.81
トーソー社員持株会	308	3.47
第一生命保険株式会社	222	2.50
株式会社きらぼし銀行	216	2.44
株式会社常陽銀行	215	2.42
みずほ信託銀行株式会社	200	2.25
日金スチール株式会社	194	2.19

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式1,130千株を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載する。
ホームページ アドレス	<a href="https://www.toso.co.jp">https://www.toso.co.jp</a>
株主名簿 管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル） 取次事務はみずほ信託銀行株式会社（トラストラウンジ を除く）の本支店で行っています。
特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社に  
お申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社に  
お申出ください。

## IRサイトのご案内

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆様からのご意見・ご質問もお受けしておりますので、メール等にてお気軽にお寄せください。

<https://www.toso.co.jp/ir/>

TOSO IR

検索



## Instagramのご案内

<https://www.instagram.com/toso1949/>



Instagram  
公式アカウント  
@toso1949



アカウントをお持ちの方はこちらから当社の情報をご覧いただけます。  
また、Instagramのアカウントをお持ちではない場合、「このページは  
ご利用いただけません。」と表示される場合がございます。  
この機会に是非当社のInstagramもご登録ください。

# トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号  
<https://www.toso.co.jp> 証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。